

信夫山の資源の保全と活用に関する基本の方針図(案)



国道4号

東登拝路口

岩谷観音



凡例	
	都市計画決定区域
	うち市 所有地
	うち公園供用区域
	信夫山公園以外の公園
	交流拠点
	文化・歴史拠点
	眺望拠点
	主な車道
	主な遊歩道
	想定される遊歩道

北登拝路口

こぶがはら (仮称)古峰ルート

こぶがはら 古峰神社

山神社 立石山

第三展望デッキ

周遊ルート

熊野山

羽黒山

羽黒神社

第二展望台広場

天狗の森

冒険の森

岩谷観音

七曲坂登拝路口

六供集落

信夫山 ガイドセンター

第二展望台

四国八十八観音 遍照院

信夫山墓園

(仮称)わらじルート

東陵高校

音楽堂・古閑祐和記念館

本登拝路口

県文化センター

薬師の峯展望デッキ

青葉山

薬王寺

薬師堂

信夫山公園

信夫山墓園

(仮称)わらじルート

東陵高校

音楽堂・古閑祐和記念館

本登拝路口

県文化センター

第一展望台

護国神社

黒沼神社

太子堂

大日堂

本参道

養山登拝路口

護国神社

黒沼神社

太子堂

大日堂

本参道

養山登拝路口

護国神社

黒沼神社

太子堂

大日堂

本参道

養山登拝路口

護国神社

黒沼神社

太子堂

大日堂

本参道

養山登拝路口

護国神社

黒沼神社

太子堂

大日堂

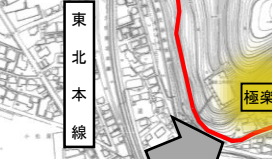
本参道

「信夫山全体をミュージアム」と捉えたまちづくり

自然、文化的・歴史的資源について専門的な視点での調査とその情報を共有する必要性を認識し、点在する資源を一体的に結びつけ、「信夫山全体をミュージアム」と捉え、これら貴重な自然、文化的・歴史的資源を守り、魅力を高め有効に活用しながらレクリエーション・交流活動を行うことが重要であると考えます。

交流拠点

＜公園・広場・遊歩道など質の高い機能の充実が必要＞
市民が伝統行事に参加しやすい環境づくりや地域に根差した継承活動の支援も重要。
自然観察やレクリエーション・交流活動の拠点となる公園・広場・遊歩道等は、一層の機能充実と安全に安心して利用できる環境整備が重要。
点在する資源を結ぶ重要な道路は、歩行者の安全確保が必要。
遊歩道などの安全点検を行い、必要に応じた安全対策などを市民との連携により取り組むことが重要。
これらの活用等は、市民・所有者(事業者)・行政等が連携し取り組むことも重要。



一信仰・文化・歴史資源

＜途絶えることのないよう守り、後世に継承していくことが必要＞
保全のための施設の整備・充実を図ることが望ましい。
市民や企業などが自主的に行う文化財保護活動を支援することが重要。

街なかとの連携

一眺望資源

＜積極的に保全し次世代に引き継ぐことが必要＞
現在の土地利用を継続し、山林や農地の適正な保全管理、良好な歴史・文化景観等も周辺環境に配慮し保全することが重要。
自然景観を活用し、既存・新たな視点場の維持・整備を行うことが重要。
保存にあたり、市民・事業者・行政等が景観の価値を共有し、連携しながら取り組むことが重要。